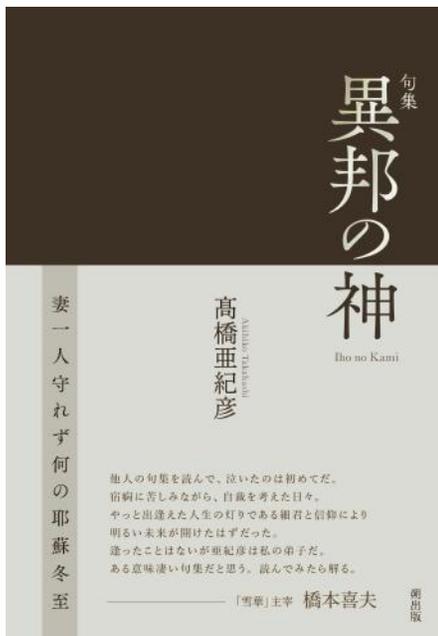


★12月上旬発売 新刊情報★

句集 **異邦の神** 高橋亜紀彦 著

コロナ禍中に妻を喪い、自己の無力を思い知る著者が、妻を恋い、原罪からの救済を請う日々を克明に描く。信仰を超えて、異彩を発揮する第三句集。



妻一人守れず何の耶蘇冬至

他人の句集を読んで、泣いたのは初めてだ。宿痾に苦しみながら、自裁を考えた日々。やっと出逢えた人生の灯りである細君と信仰により明るい未来が開けたはずだった。ある意味凄いい句集だと思う。読んでみたら解る。——橋本喜夫(医師・「雪華」主宰)

—収録作品より—

明日からは春の炬燵となる炬燵
その唇に触れることなく梅の花
妻の魂さすらひ始む夜の秋
保護室にナースの運び来る聖菓
緊急事態宣言の夜の菜飯かな
パンに塗るレバーペースト開戦日
叛逆か従属か蟻迷走す
逝く秋や妻の臉を指で閉づ
気の利かぬ亡妻だと屠蘇を手酌する
白シャツの何処にもゆかず汚れけり

定価 2750円(本体 2500円+税10%)
四六判 上製 216ページ 帯文=五十嵐秀彦

高橋亜紀彦 (たかはし あきひこ)
1962年、東京生まれ。キリスト者の家に育つ。
2004年から俳句をはじめ、「いつき組」「里」
「藍生」等を経て、現在「雪華」「紫」同人、
「篠」会員。現代俳句協会会員。
句集に『蘭春』『石の記憶』がある。

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRC より全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者 JRC 宮尾)

ご注文申込書	貴店名・帳合	注文数	発行 朔出版 電話 03-5926-4386 FAX 03-6680-8133
		冊	句集 異邦の神 高橋亜紀彦 著 四六判 / 上製 / 216頁 / 定価: 2750円(本体2500円+税10%)
	(ご担当者名:)		ISBN978-4-911090-01-5 C0092